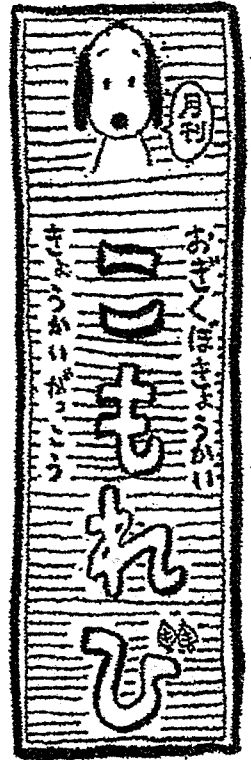


みな しょうにん
わたしたちは皆、そのことの証人です。

— 使徒聖ペトロのことは
（使徒言行録 2章 32節）

イエスさまが死者の中から復活されました。
それが、わたしたちの信仰の原点です。
イエスさまが復活なさったから、
血に染まった十字架は、栄光の木となり、
イエスさまが復活なさったから、
すべての意味が解き明かされ、
イエスさまが復活なさったから、
教会は家族として共に歩んで行けるのです。
復活し、もはや死ぬことのないキリストは
朽ちることのない富を示しておられます。
復活し、もはや死ぬことのないキリストは
わたしたちもその栄光に与るようにと
招いておられるのです。



号外

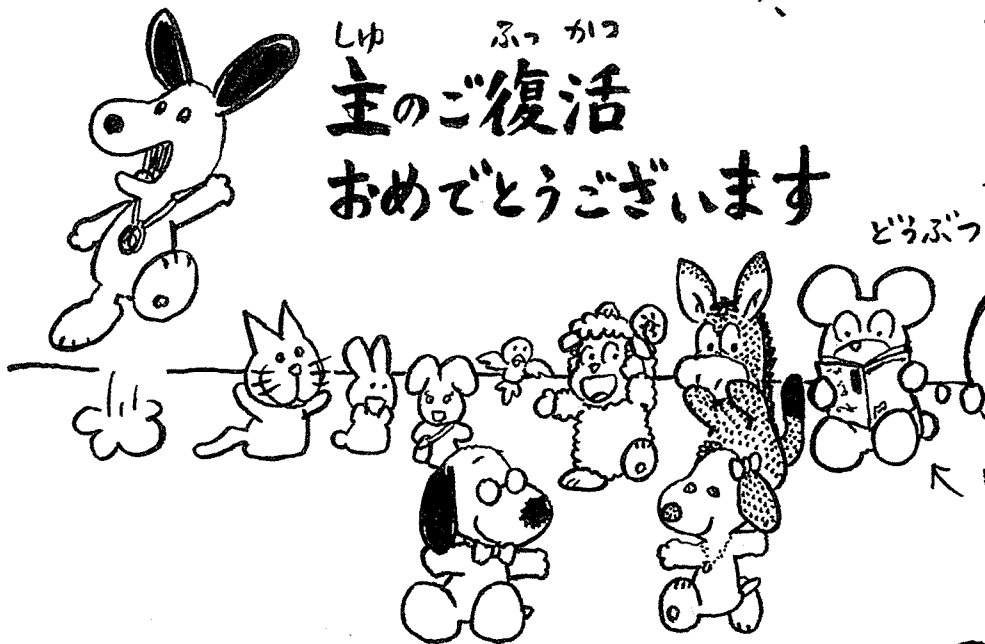
2018年
復活祭特別号

発行元: スヌ校長



しゅ ふっかつ
主のご復活
おめでとうございます

せんきょうかいいちどう
どうぶつ宣教会一同



さいしんごう きねん
最新号は去年の
12月号だった?!

とうみん
冬眠おわって
出てきたくまちゃん

Prospera Pascha Sit!

「プロスペラ・パスカ・シット」 — 深い復活祭でありますように というラテン語の挨拶です

支柱さえ強く高ければ
 天へもとどく草です
 かよわくて直立は出来なくても
 思いめぐり
 思いめぐり
 めぐりつづけて伸びて行くのです
 だが風が激しく吹きまくる晩
 わたしと支柱と一緒に吹き倒されそうでした
 不安な思いで
 いちすにすがればすがるほど
 支柱はたよりなくて
 ついには永い間
 めぐりめぐらせていた思いをほぐして
 離れようとするのでした
 けれど、やがて朝が来て
 太陽がやさしくほほえむ時
 しみじみと支柱に安住している
 幸いを感じるのです
 あたしは弱い蔓草です
 でも支柱さえ高く強ければ
 天へもとどく草なのです

栗原 貞子



人は、自分の弱さと向き合うとき、自分を支えるもの大切さに気づきます。ふだん「自分を信じて頑張る」などと言える人も、自分の恃む力や富がなくなれば、残るのは弱い自分だけ。ところが聖パウロはキリストに結ばれて、こう言います。「わたしは弱いときにこそ強い」(Ⅱコリント 12章10節)。弱い身にこそキリストの力が宿るからです。
 『つる草』というこの作品は、栗原貞子さん(1913~2005)の詩です。女学校時代に詩作を始めた彼女は、32歳のときに広島で被爆。戦後は反戦・平和運動のかたわら詩作を続け、『生まれめんな』という詩で広く知られました。

1枚の号外
 えー！また
 クリスマス
 で使った
 非常手段
 が
 だげど
 ぼくは号外
 あったほうが
 うれしい
 わたしも
 常套
 手段に
 なりつつ
 あるニヤ
 どうも
 合併号は
 1-2-3月
 になりましたか
 まだ書いている
 途中なの。
 4月には出せる
 桜咲いてるのにクリスマス会の
 記事を書くのは
 大変なんだ
 桜町病院に
 行って来たよ！
 社会福祉法人
 桜町病
 SAKURAMACHI HOSPITAL
 岸神父様
 どうだった？
 白くまが
 お見舞に
 来てたよ
 岸神父様の
 ところね♡
 リハビリ大好き！
 白くま
 元気になって
 退院するため
 しっかり食べてるよ
 岸神父様のため
 ひまっきお祈り
 いたしましよ
 あなたの名前を
 あげて、元気にしてるか
 心配してたよ

月刊のこもれび号外
 〒168-0072 東京都練区高井戸東4-18-13
 もじもじ 03-3334-8216 (FAX-8261)
 主任司祭=岸 忠雄 神父
 主日のミサ=当面的間10:00のみ
 毎月第1・第2・第3日曜
 10時のミサ終了後
 http://www.kotonanoki.com/
 2018. 3. 31. 印刷発行